

北海道建設新聞

車いす3台を 釧路市に寄贈

宮坂建設工業

【釧路】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は22日、釧路市に車いす3台を寄贈した。写真。市役所で宇佐美恭広専務が蝦名大也市長に目録を手渡し、感謝状を受け取った。

同社は、廃品回収のサイクルポイントや社内交通安全表彰賞金などを活用し、2008年から毎年9台の車いすを購入。本支店所在市に3台



ずつ贈っている。この日、小山内誠購買部長、原卓也釧路支店長とともに

に訪れた宇佐美専務は「今後は高齢者施設や十勝管内の町村にも贈りたい」と述べた。

釧路市は、今回の3台を音別町福祉保健センターほほえみで使う予定。音別町行政センターの米谷好晃センター長は「配備済みの9台が老朽化してきたので、大変助かる」と感謝していた。